

第 1 学年 *組 国語科学習指導案		
平成**年 *月**日 (*) 第 *校時 1-* 教室 指導者 ** **		
育成する国語の能力	C 読むこと ウ 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わうこと。	
単元名	小説(一) 羅生門	
単元目標	○ 小説という文学ジャンルに関心をもち，情景・行動・心情の描写から，下人の心情の推移を読み取ろうとする。 (関心・意欲・態度) ○ 情景・行動・心情の描写から，下人の心情の推移を読み取ることができる。 (読む能力) ○ 新出漢字や慣用句を正しく読み，使うことができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項) のウの(ア))	
単元の評価規準	関心・意欲・態度	
	読む能力	
	小説という文学ジャンルに関心をもち，情景・行動・心情の描写から下人の心情の推移を読み取ろうとしている。	
	知識・理解	
	新出漢字や慣用句を正しく読み，使っている。	
取り上げる言語活動	グループで意見を交換し，『羅生門』における「にきび」が意味するものを捉え，意見をまとめる。	
題材(教材)	芥川龍之介『羅生門』(第一学習社 高等学校国語総合改訂版)	
単元(教材)について	(1)生徒観：本文中からキーワードを探したり，心情表現を見つけたりすることは素早くできている。しかし，見つけた表現がどのような心情を表しているのかを言葉で表現し，まとめることを苦手としている生徒が多い。 (2)教材観：主人公である下人の心情が出来事と共に大きく変化し，その推移が読み取りやすい教材であるため，小説における登場人物の心情の変化を捉え，自分の語彙でまとめる力がつくと考えられる。 (3)指導観：主人公の心情の理解を深めるために，読み取った心情を主人公の口調でまとめさせる。また，自分の意見に自信をもたせるために，グループワークを行い，意見を交換しながらまとめさせる。	
指導計画(学習計画)	主な学習活動	
	主な評価	
	1 小説という文学ジャンルについて概要を捉え，筆者について簡単にまとめる。	・筆者の略歴等をノートにまとめ，教材本文に関心をもって読もうとしている。 (関心・意欲・態度)
	2 単元の教材文の朗読を聞き，場面分けをする。	・新出漢字や慣用句を正しく読むことができる。 (知識・理解) ・本文に即して内容を読み取り，場面分けをしている。 (読む能力)
	3 下人の心情を場面ごとにワークシートにまとめる，心情の推移を捉える。	・教科書本文の内容に即し，自分の言葉を用いて下人の心情をワークシートにまとめている。 (読む能力)
4 作中における「にきび」について意見を交換し，読みを深める。(本時)	・積極的に意見を交換し，「にきび」について考えをまとめることができる。 (読む能力)	

本 時 案 (第 1 1 時)

本時の目標

- 『羅生門』における「にきび」のもつ意味について、話し合いを通して意見をまとめようとする。
(関心・意欲・態度)
- 『羅生門』における「にきび」のもつ意味について、本文の表現や下人の心情に即して捉え、意見をまとめることができる。
(読む能力)

学習活動

指導上の配慮事項など

評価・方法など

1 前時の復習をし、自分がまとめた「にきび」と「にきびから手を離す」の意味を確認する。

- 前回のワークシートを参照させ、本時のワークシートに自分の意見を整理させる。
- ワークシートのまとめが終わっていない者には他の生徒の意見を例として提示し、自分の意見を言葉にする糸口を与える。
- 全員が意見を書いていることを確認する。

『羅生門』においてにきびがもつ意味について意見を交換し、考えを深めよう。

2 四人ずつのグループに別れ、模造紙の四隅に自分の意見を書き込む。

- 班内で違う色のペンを使わせ、誰が書いたものか一目で分かるようにする。

- 自分の意見を模造紙に書き込み、班内で意見を交換しようとしている。
(関心・意欲・態度)
〈模造紙への記述の観察〉

3 班ごとに時計回りに席を移動し、各々の意見に対してコメントを書き込む。

- コメントを書く際は否定的・批判的なものを控え、肯定的な言い回しをするように全体に呼びかける。
- なかなか書き出せない生徒には、自分の意見との共通点に線を引く等のアドバイスをします。

4 一周したらそれぞれの書いたものを読み、模造紙の中央に共通点や相違点を書き出す。

- 書き込んだ意見や引いた線が少ない班は、改めて全員で意見の読み合わせをさせ、共通点や相違点が見つけられるようアドバイスをします。

- 自分と他者の意見を読み比べ、共通点や相違点を自分の言葉でまとめている。
(読む能力)
〈模造紙への記述の観察〉

5 「にきび」「にきびから手を離す」ことが何を意味しているのか班ごとに話し合い、意見をまとめる。

- 見つけた共通点や相違点を基に、班で一つの結論をまとめるよう全体に呼びかける。
- 意見を言葉で表すことが難しい班には、適宜アドバイスをします。

- ・まとめられない班には、意見の共通点を軸にまとめるようアドバイスをします。

6 振り返りをし、次回の予告をする。

- 授業全体を振り返り、自己評価をさせる。
- 次回に各班の意見を発表するため、発表者を決めておくよう全体に伝える。